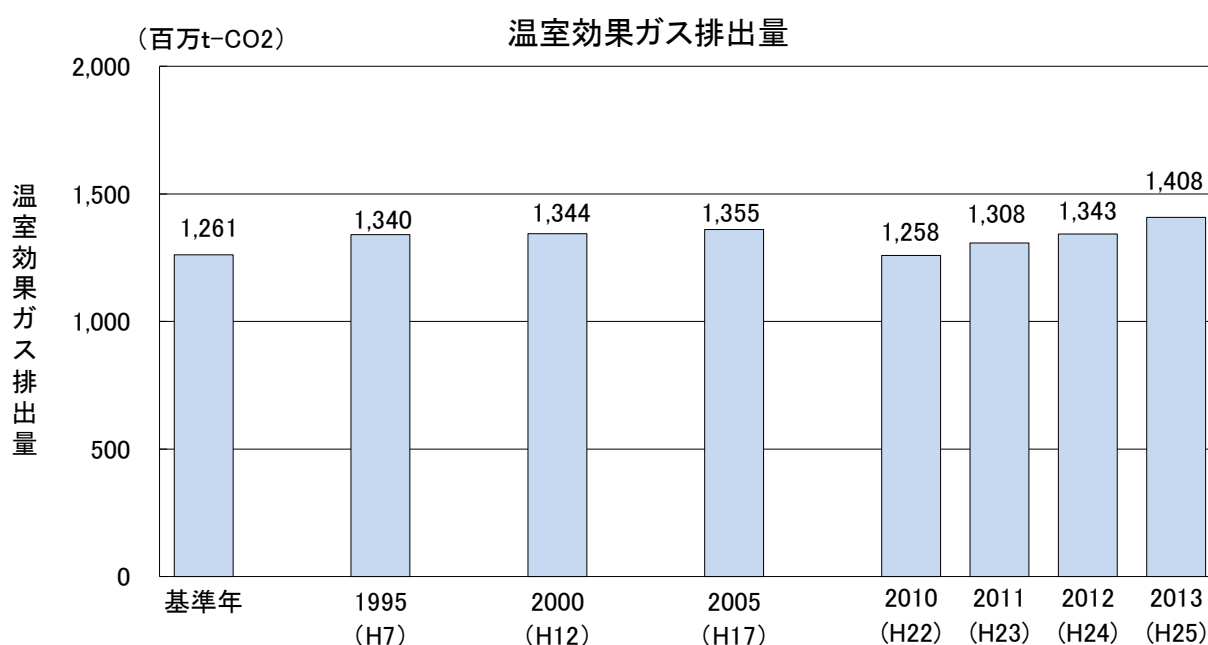


1 2013（平成25）年度温室効果ガス排出量について

(1) わが国の温室効果ガス排出量の推移

日本全体の2013(平成25)年度の温室効果ガス排出量は、約14億800万t-CO₂であり、基準年(1990 年)比で、約11%の増加、前年度(2012(平成24)年)比で、約4.8%の増加となっている。

2012 年度と比べて、排出量が増加した要因として、国は報告書の中で、火力発電における石炭の消費量の増加や、業務その他部門における電力や石油製品の消費量の増加によりエネルギー起源CO₂の排出量が増加したことなどを挙げている。



日本の温室効果ガス排出量の推移

資料: 環境省

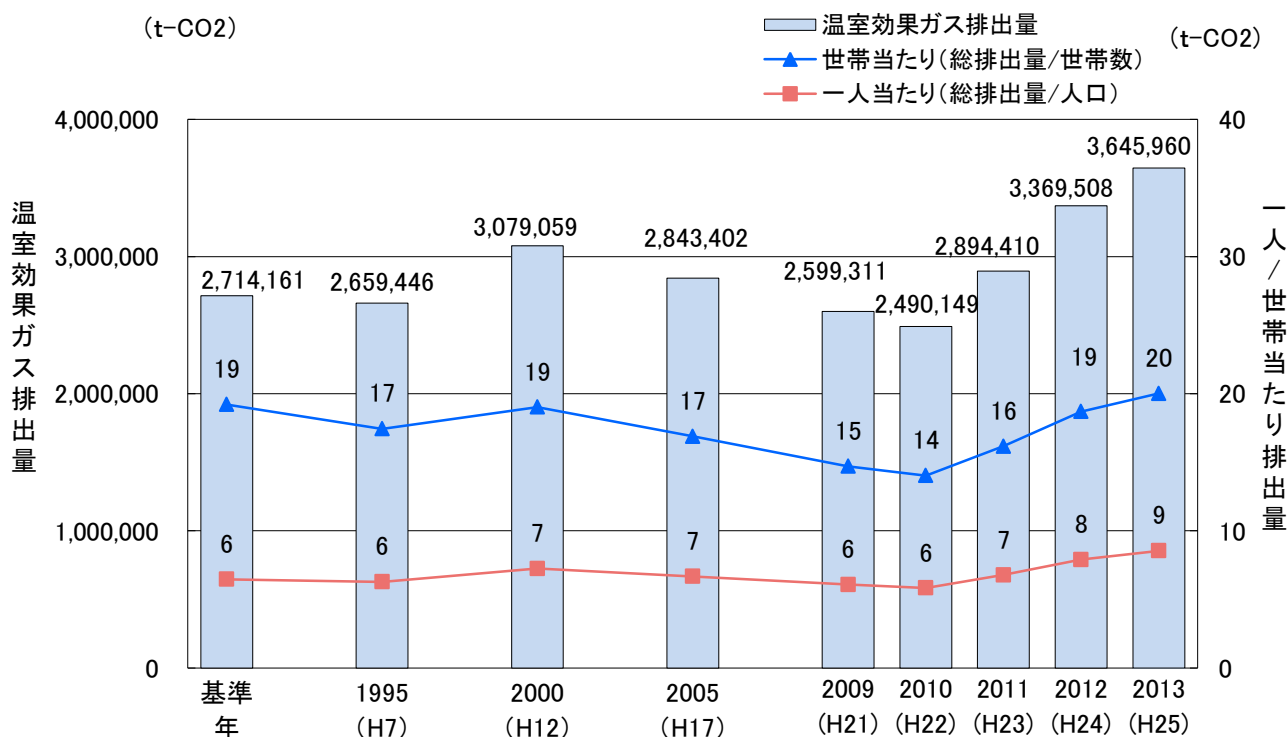
(2) 高松市における温室効果ガス排出量の推移

高松市の2013(平成25)年度の温室効果ガス排出量は、約365万t-CO₂であり、基準年と比べ約34%、前年度と比べ約8%増加している。(算定に必要なデータの一部が確定していないため、2013(平成25)年度は推計値で計算しております)

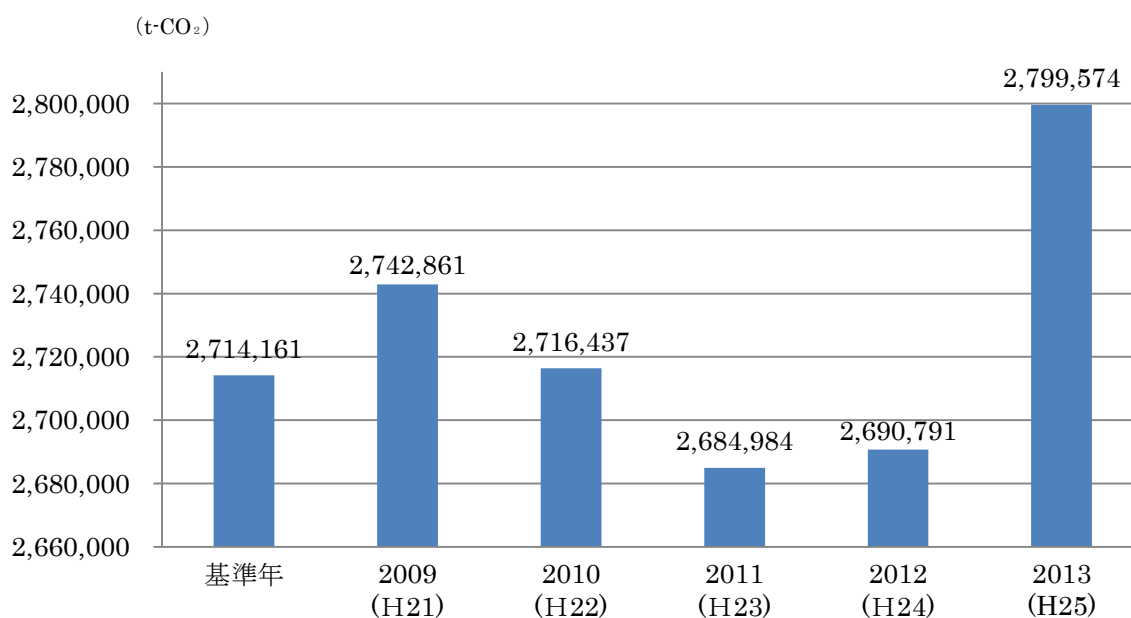
温室効果ガス排出量が増加した主な原因としては、伊方原子力発電所の停止の影響などにより、電力の排出係数が悪化(2012 年度 0.656kg-CO₂/kwh → 2013 年度 0.706kg-CO₂/kwh)し、電力消費を原因とする排出量の割合が大きい民生(家庭・業務)部門からの温室効果ガス排出量が増加したことのほか、製造業の排出量が増加したことがあげられる。

電力の排出係数の影響を除いた排出量の推移をみるため、各年度の排出係数を基準年の排出係数(0.41 kg-CO₂/kwh)に置き換えた場合、2013(平成25)年度の排出量は、基準年と比べ、約3%の増加となる。

温室効果ガス排出量及び世帯、一人当たり排出量の推移



基準年の電力排出係数を用いた場合の温室効果ガス排出量

参考: 基準年の電力排出係数(0.41)を用いた場合の温室効果ガス排出量及び当該年度の実際の電力排出係数 (t-CO₂)

年度	基準年	H21	H22	H23	H24	H25	増減率(基準年比)
温室効果ガス排出量	2,714,161	2,742,861	2,716,437	2,684,984	2,690,791	2,799,574	3%増
実際の排出係数	0.41	0.356	0.326	0.485	0.656	0.706	

資料5

温室効果ガス排出量の経年変化

単位：t-CO₂

		基準年	1990 (H2)	1995 (H7)	2000 (H12)	2005 (H17)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	増減率※	
												基準年比	前年比
産業部門	製造業	599,087	599,087	519,000	481,623	294,177	250,944	262,547	287,942	347,455	458,580	-23%	32%
	農林水産業	79,962	79,962	74,351	54,914	56,720	56,407	48,848	48,714	54,557	47,413	-41%	-13%
	建設・鉱業	82,268	82,268	68,141	73,212	53,747	42,488	39,750	49,848	52,600	49,570	-40%	-6%
	小計	761,317	761,317	661,492	609,749	404,644	349,839	351,145	386,504	454,612	555,563	-27%	22%
民生部門	家庭	413,569	413,569	378,329	557,811	529,939	508,246	513,266	676,984	865,818	892,154	116%	3%
	業務	607,759	607,759	596,098	814,822	815,450	710,085	612,818	843,044	1,052,624	1,198,805	97%	14%
	小計	1,021,328	1,021,328	974,427	1,372,633	1,345,389	1,218,331	1,126,084	1,520,028	1,918,442	2,090,959	105%	9%
運輸部門	自動車	旅客	285,274	285,274	366,084	434,696	412,927	413,290	377,512	376,503	373,474	28%	-2%
		貨物	357,511	357,511	388,007	376,291	408,303	367,770	384,206	374,420	378,080	6%	1%
	鉄道	5,381	5,381	4,404	5,728	5,698	5,643	5,323	6,661	8,218	9,045	68%	10%
	船舶	166,147	166,147	129,827	132,888	141,005	121,111	132,935	124,028	123,901	127,204	-23%	3%
	小計	814,313	814,313	888,322	949,603	967,933	907,814	899,976	881,612	883,673	882,339	8%	0%
廃棄物(焼却)		32,715	32,715	65,424	86,065	72,357	69,099	67,639	58,579	65,283	65,773	101%	1%
二酸化炭素排出量		2,629,673	2,629,673	2,589,665	3,018,050	2,790,323	2,545,083	2,444,844	2,846,723	3,322,010	3,594,634	37%	8%
メタン		31,270	31,270	27,929	23,336	20,009	20,188	20,954	20,595	20,285	24,979	-20%	23%
一酸化二窒素		48,139	48,139	36,773	32,175	27,302	28,245	20,381	23,090	23,332	22,024	-54%	-6%
代替フロン等 HFC		5,079	-	5,079	5,498	5,768	5,795	3,970	4,002	3,881	4,323	-15%	11%
温室効果ガス排出量		2,714,161	2,709,082	2,659,446	3,079,059	2,843,402	2,599,311	2,490,149	2,894,410	3,369,508	3,645,960	34%	8%

※ 基準年は、二酸化炭素(CO₂)、メタン及び一酸化二窒素については1990(平成2)年、代替フロン等については1995(平成7)年とする

※ 増減率(基準年比) = (2013年値 - 基準年値) / 基準年値

※ 増減率(前年比) = (2013年値 - 2012年値) / 2012年値

【年間電力消費量】

(百万kWh)

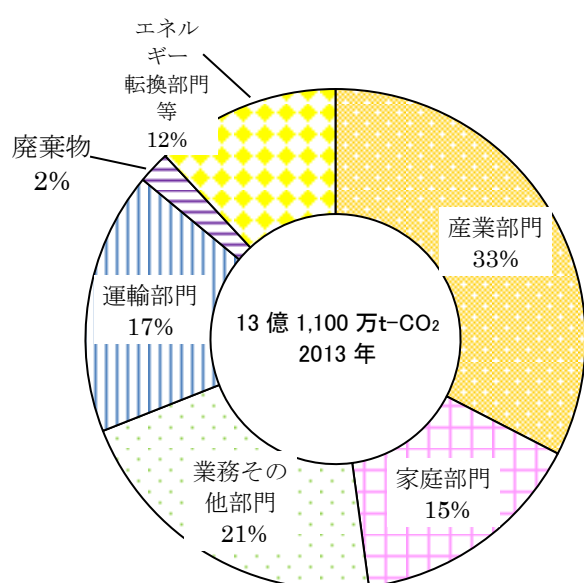
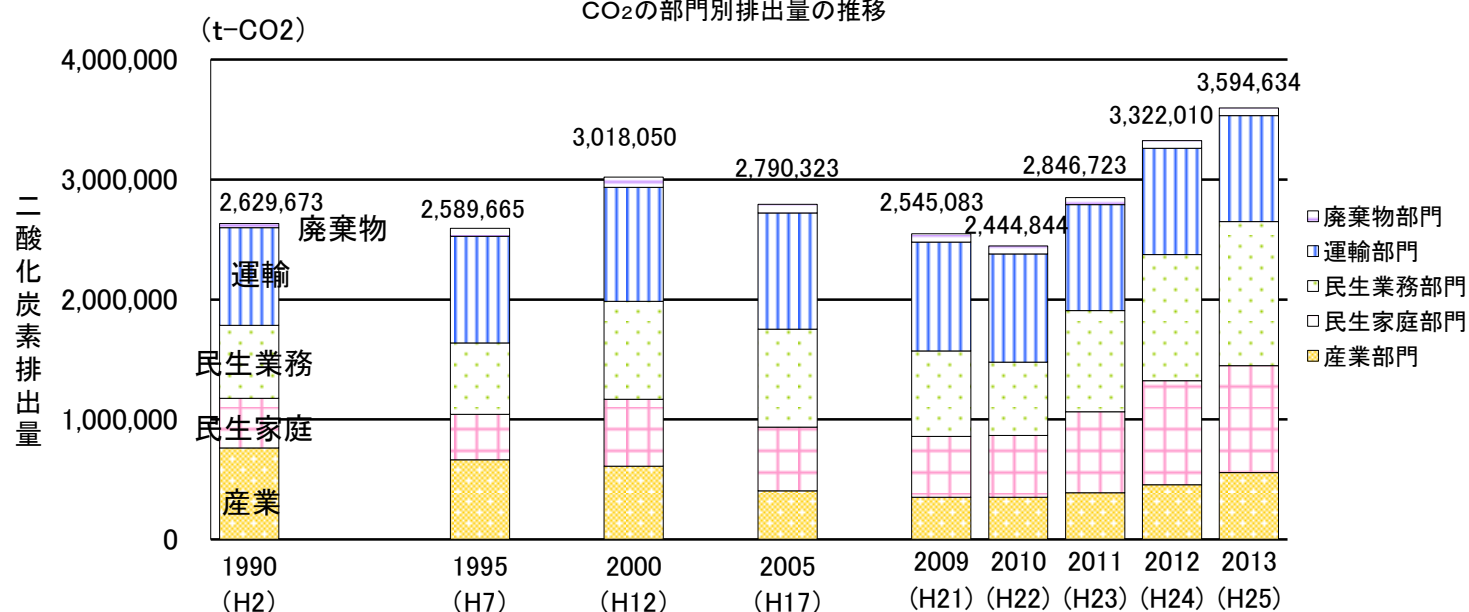
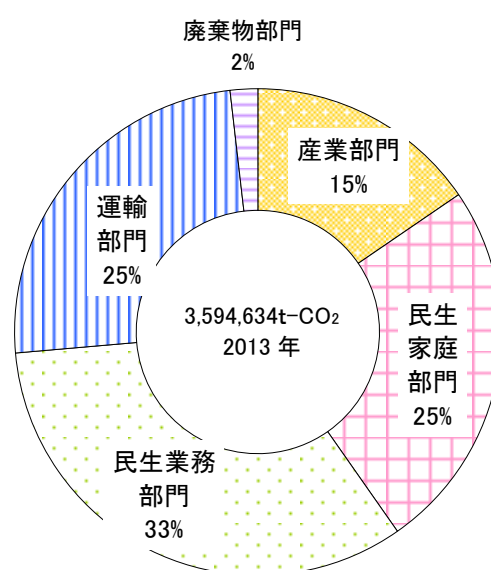
	基準年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
民生家庭部門	684	1,094	1,195	1,156	1,145	1,106
民生業務部門	806	1,228	1,106	1,193	1,212	1,225
計	1,490	2,322	2,301	2,349	2,357	2,331

(3) 高松市における部門別二酸化炭素排出量

ア 総論

本市の二酸化炭素排出量は、民生部門(家庭・業務)と運輸部門が、それぞれ58%、25%と大きな割合を占めている。

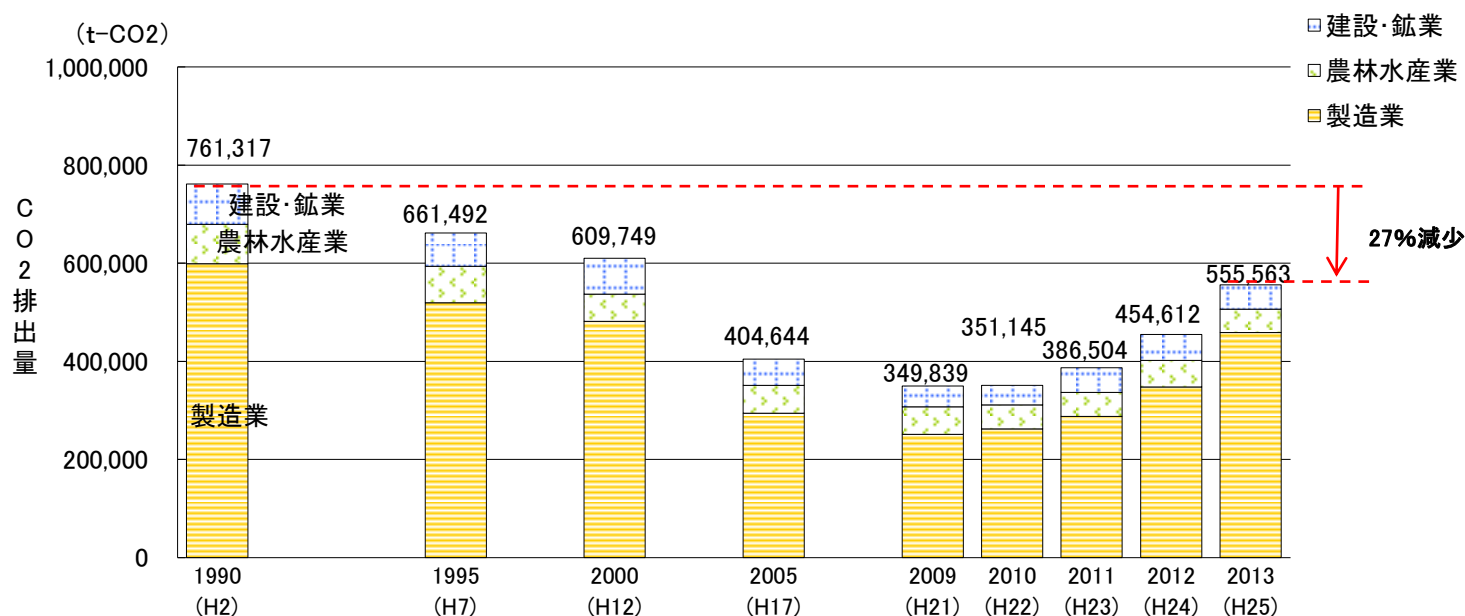
部門名	各部門の対象
産業部門	農林水産業、建設・鉱業、製造業（主に第一次産業、第二次産業）
民生家庭部門	戸建住宅、集合住宅（一般家庭）
民生業務部門	事務所、百貨店、スーパー、その他小売業、宿泊施設、病院、学校など（主に第三次産業）
運輸部門	自動車、船舶、鉄道（交通機関）
廃棄物部門	廃棄物の焼却

CO₂の部門別排出量の推移CO₂排出量の部門別内訳(全国)CO₂排出量の部門別内訳(高松市)

イ 部門別排出量の推移

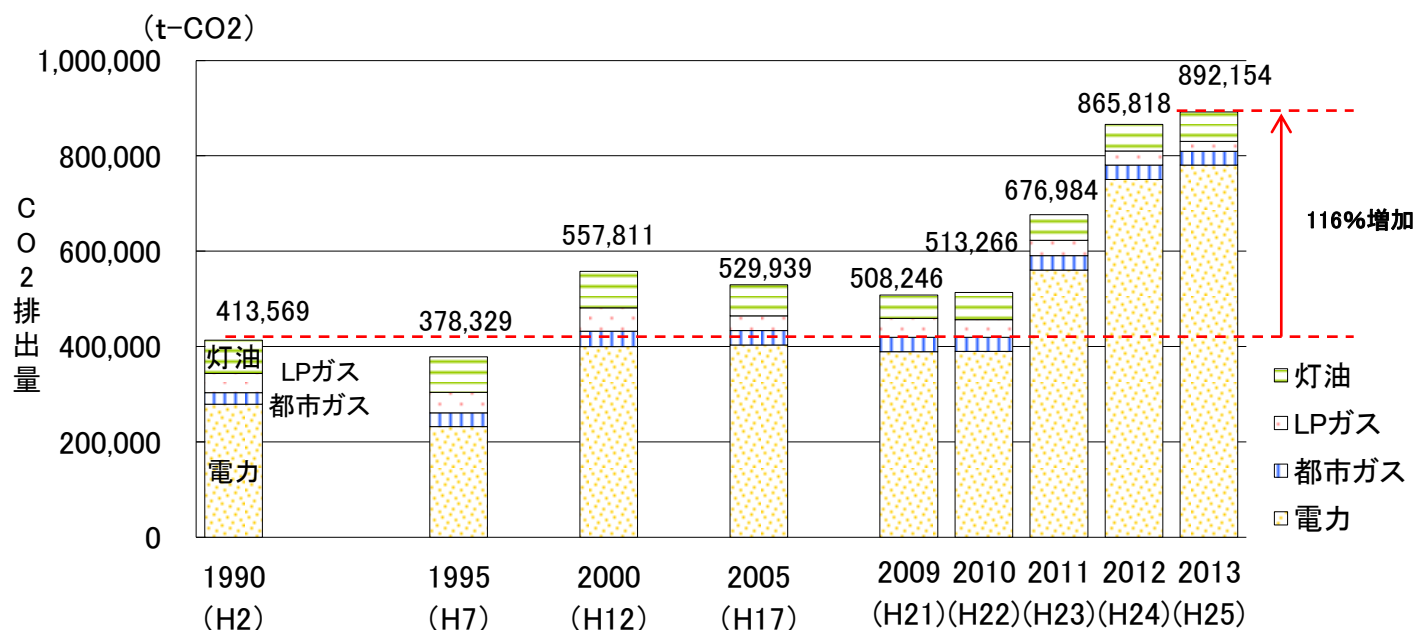
・産業部門

産業部門からのCO₂排出量は、約 55 万 6 千t-CO₂であり、基準年と比べ約27%減少しているが、前年度と比べると約22%増加している。

CO₂排出量の推移

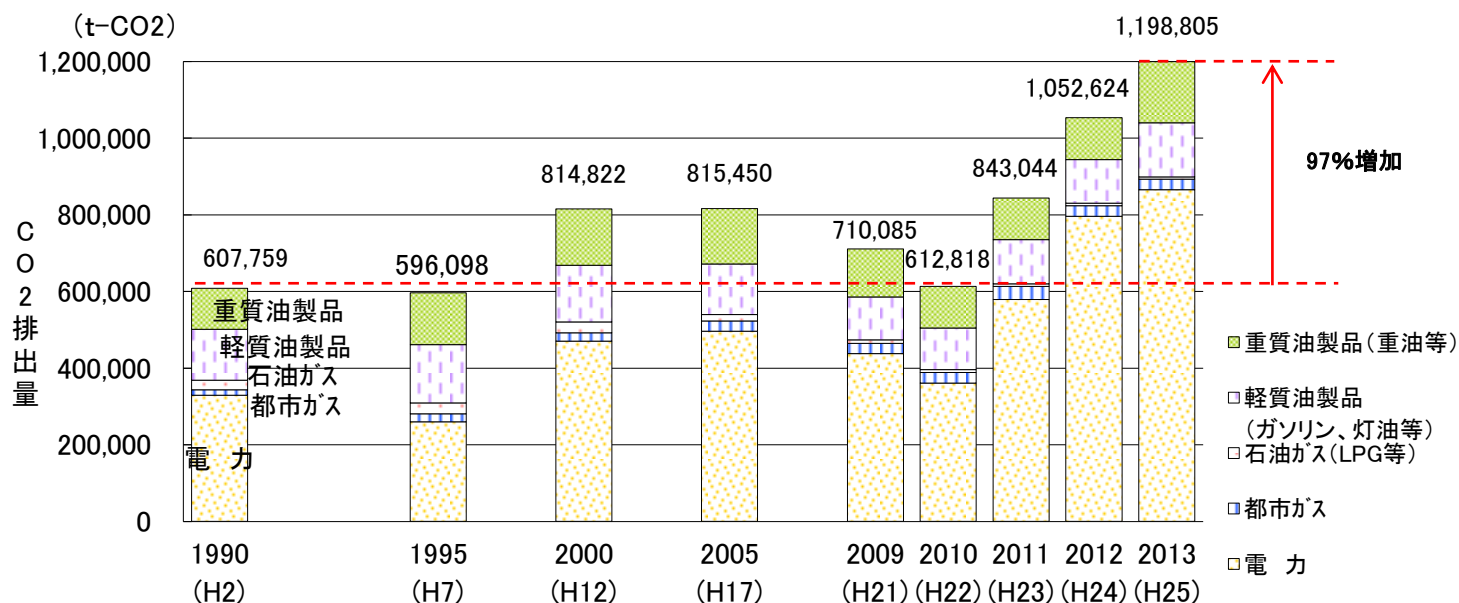
・民生家庭部門

民生家庭部門からのCO₂排出量は、約 89 万 2 千t-CO₂であり、基準年と比べ約116%、前年度と比べ約3%増加している。

エネルギー種別CO₂排出量の推移

・民生業務部門

民生業務部門からのCO₂排出量は、約 119 万 9 千t-CO₂であり、基準年と比べ約97%、前年度と比べ約14%増加している。



・運輸部門

運輸部門からのCO₂排出量は、約 88 万 2 千t-CO₂であり、基準年と比べ約8%増加、前年度と比べると微増している。

